

高真空用フッ素グリース

バリエルタ BARRIERTA SUPER IS/V

特長

- ほとんどの薬品、溶剤、燃料に溶解・反応しません。
- ゴム、プラスチックにほとんど悪影響を与えません。
- 35～260℃で使用可能です。

用途例

- 真空ポンプ
- スパッタリング装置
- 電子顕微鏡
- 真空蒸着機
- 真空冶金装置
- 連続真空メッキ装置
- クリーンルーム
- 薬品・溶剤・燃料と接触する各種機械・装置
- その他しゅう動部



一般特性

試験項目	試験方法	試験条件	BARRIERTA SUPER IS/V
基油	---	---	フッ素油
増ちょう剤	---	---	PTFE
ちよう度	JIS K2220.7	25℃、60W	2
基油粘度	JIS K2220.23 (mm ² /s)	40℃	414
		100℃	39
蒸気圧(基油)	クレーン・イフーゾン法 (Pa)	20℃	5×10 ⁻¹⁴
アウトガス発生量	GC/MS (μg/g)	100℃× 3h (検出限界 0.01)	1.3
蒸発量	NKL 法 ^{※2} (wt%)	200℃× 100h	0.1

※1: 本特性は1ロット値です。

※2: NKL 蒸発量: φ37 のアルミ皿に試料 0.4g を均一になるように塗布し、試験温度の恒温槽に静置させる。

規定時間後に取り出し、試験前後の重量変化より、蒸発量(wt%)を求める。

<注意事項>

●フッ素系潤滑剤への異種潤滑剤の混入について

フッ素系潤滑剤への鉱油および他の合成系等の異種潤滑剤との混合は絶対に避けて下さい。フッ素系潤滑剤の優れた性能が発揮されません。

●フッ素系潤滑剤のご使用前の洗浄について

フッ素系潤滑剤の優れた性能を発揮させるためには、潤滑箇所から油、グリース、防錆剤、ゴミ等を完全に除去する必要があります。

油、グリース、防錆剤の除去はそれぞれに適した石油系等の溶剤を洗浄剤として用いて行って下さい。洗浄は潤滑部分だけでなく、潤滑剤を塗布するときに使用する容器、グリースガン等のフッ素系潤滑剤が触れるもの全てに行ってください。洗浄後、フッ素系潤滑剤を使用する前に、エアブローを行うか、ドライヤーを用いる等、洗浄剤が残らないように必ず乾燥させてください。

●フッ素系潤滑剤の洗浄について

フッ素系潤滑剤はアルコールや石油系の溶剤等、ほとんどの溶剤に溶解しません。洗浄にはフッ素系溶剤を使用してください。

●取り扱いの特記注意事項

有害な分解ガスが発生するおそれがありますので、280℃以上には加熱しないでください。また、手に付着させた状態で煙草を吸わないでください。

<問合せ先>

NOK クリューバー株式会社 営業企画部 営業技術課
TEL : 03-3434-1734
Mail : contact@nokklueber.co.jp
URL : <http://www.nokklueber.co.jp>

- ・この製品は一般工業用途向けに開発・製造されたものです。医療及び食品用途には使用しないでください。
- ・弊社都合により本資料の内容を変更する場合があります。
- ・ご使用に際しては安全データシート(SDS)をご確認の上、安全を図ってください。

your global specialist